

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆消費企業景況感、4期連続で過去最高 株高と訪日客効果

・消費関連企業の景況感を示す「日経消費DI」の4月の業況判断指数(DI)は、プラス27と4調査連続で過去最高となった。1月の前回調査から7ポイント上昇した。3カ月後の業況見通しも、1995年の調査開始以来の最高値を記録した。歴史的な株高による消費押し上げ効果やインバウンド(訪日外国人)客需要への期待が高まっている。

◆ヤマダ、現代自動車のEV販売 初の直接仕入れ

・ヤマダホールディングス(HD)は韓国・現代自動車の電気自動車(EV)の取り扱いを月内に始める。ヤマダとして初めて自動車メーカーから新車を直接仕入れ、個人向けに販売する。日本の新車販売はメーカー系列のディーラーが主導権を握ってきた。メーカーとの直接取引を増やし、国内の流通モデルを変えることを目指す。

◆大阪万博バイト時給は1850円 地元企業「人材取られる」

・2025年国際博覧会(大阪・関西万博)の会場運営スタッフのアルバイト募集が始まった。時給は1850円で、関西のアルバイト・パート時給の平均水準を6割上回る。万博開催中の期間限定ながら、深刻な人手不足に追い打ちをかける可能性があり、地元企業からは「万博に人材を取られる」と懸念の声も上がる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆国産合板価格に底打ち感 東京地区、メーカー値上げで

・住宅の壁や屋根に使う国産針葉樹合板の流通価格が3月中旬以降、横ばいで推移している。合板は薄い板を接着して強度を高めた木材。住宅販売が振るわず荷動きは鈍いが、合板メーカーがコスト高を理由に値上げを打ち出し、2023年春以降続いた下落基調が和らいでいる。

◆国交省が省エネ改修事業の提案募集 性能表示を要件に

・国土交通省は2024年度「既存建築物省エネ化推進事業」の初回募集を開始。既存建築物省エネ化推進事業は建築物ストックの省エネルギー改修を促進するために実施するもの。民間事業者などが既存建築物の省エネルギー改修工事を行う場合に改修費用を支援する。追加で行うバリアフリー改修工事も対象となる。募集期間は5月29日まで。

◆ダイキン、ビル・ゲイツ氏設立の脱炭素ファンドに出資

・ダイキン工業は米マイクロソフト共同創業者のビル・ゲイツ氏のベンチャーキャピタルが新設する脱炭素関連ファンドに出資したと発表。ダイキンはファンドを通じて環境技術の最新情報を得るほか、スタートアップとの連携も模索。ゲイツ氏らが設立したブレイクスルー・エナジー・ベンチャーズ(BEV)が新設するファンドに出資する

《 注目商品 》

■サンワカンパニー、高さ200mmの浅型レンジフード

・高さ200mmの浅型レンジフード「ラフィット」を発売。排気位置を手前に寄せ、左右いずれかの排気位置と、2種類の幅(600・900mm)が選べるため、梁のあるキッチンを含め、様々なレイアウト・間口のキッチンに柔軟に対応。シロッコファン採用。



■ニチハ、外壁材にボーダーデザインの新柄を追加

・「ヴェルセ」は、超高耐候塗料プラチナコートやマイクロガード仕様など優れた性能と、ベースやアクセント使いも出来る万能なデザインが特徴の高品質外壁「モエンエクセラード16」の新柄。R形状が生み出す陰影の美しさと、直線的なピースを組み合わせたボーダーデザイン。



■フクビ化学工業、浴室床シートに色柄追加

・浴室用床シート「あんからプラス」に新柄「クリーム」、「ピンク」、「ライトグレー」の3色を追加。「アイスホワイト」、「ウォームグレー」と合わせ全5色。「あんからプラス」は、浴室やユニットバスの既存の床に直接貼れるリフォーム用の浴室用床シート。住宅改修費補助金の対象。

